

主催： 京都大学人文科学研究所・文学研究科附属ユーラシア文化研究センター  
共催： 科研費基盤研究 B「イスラーム圏におけるイラン式簿記術の成立と展開」

## 特別講演会

# The Balkh Art and Cultural Heritage Project

## New Research in the Urban History and Archaeology of Afghanistan and Central Asia

講演者： **Edmund HERZIG 氏**（オクスフォード大学東洋学部教授）

日時： 3月19日水曜日午後3時より

会場： 京都大学人文科学研究所 1F セミナー室 1

聴講無料 使用言語：英語（通訳無）



Edmund Herzig 教授はアルメニア、コーカサス史研究の第一人者で、*The New Caucasus: Armenia, Azerbaijan and Georgia* (1999), *The Armenians: Past and Present in the Making of National Identity* (2005) 等の著書を発表しておられます。近年では Balkh Art and Cultural Heritage Project ([www.balkhheritage.org](http://www.balkhheritage.org)) の責任者として、アフガニスタン北部の重要史跡バルフをめぐる文献、遺物、貨幣史料の総合的研究を行っておられます。このたび科研費（代表者：東京外国語大学 高松洋一氏）による国際ワークショップ *Armenian and Persian Bookkeeping Systems: A Comparison*（3月23日午後1時半／於東京外国語大学本郷サテライト）参加のために来日されますが、この機に京都においても講演を行っていただけることとなりました。多数のご参加をお待ち申し上げます。

★ 今回はユーラシア文化研究センター（羽田記念館）改装中のため、京都大学本部キャンパス内人文科学研究所本館にて開催いたします。ご注意ください。

問い合わせ先：

京都大学人文科学研究所稲葉研究室（075-753-6968）

京都大学ユーラシア文化研究センター（075-491-6027）

